様式３(2020.08改)

作成日　令和2年12月16日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394100099
事業所名	グループホーム百の木東海

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	コロナ禍において、通常のお付き合いは難しくなっている。ボランティアや見学の受け入れも、現在は中止になっている。日課の近隣散歩は継続があり、季節の野菜や果物を頂いたり、顔見知りの方との立ち話等、ソーシャルディスタンスを意識して交流している。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	新型コロナ感染症拡大予防策を考え、知多北部広域連合の担当部署と協議し、2月の会議開催を最後に、以降は書面開催となっている。広域連合との取り決めで、4カ月に1回程度、メンバーに資料を郵送し、返信用紙を同封して意見を募る方法になっている。返信用紙には、温かい激励の言葉が寄せられている。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	広域連合及び地域包括支援センター主催の会議や研修は全て中止となり、運営に関する報告・相談を電話で行う連携が主になっている。コロナ対策を含め、担当部署とは適切に連携している。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	新型コロナ感染症拡大予防として、家族の面会を4月から中止にしている。方針は、電話等で直接口頭連絡し、理解を得るとともに、その後書面で周知している。その他の運営に係る意見聴取に関しても、管理者が直接話し、適切な対応に努めている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議の開催回数について、知多北部広域連合担当部署と協議し、4ヶ月に1回程度の書面開催を取り決めている。方法についても、資料送付の際に返信用紙を同封し、メンバーの意見を募る等を工夫している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										